第三次佐久市産業振興ビジョン
骨子

令和8年11月

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　1/6

第1章　はじめに

1　策定の趣旨

■ 策定の趣旨として、主に以下の内容を記載

- 産業振興ビジョンは、商工業を中心とする市内産業の振興に向け、基本方針や具体的な施策を示す計画です。
- 本市では、地域の特性を生かした産業振興を図るため、これまで、佐久市産業振興ビジョン（計画期間：平成21年度から平成28年度）、佐久市健康長寿産業振興ビジョン（計画期間：平成29年度から令和8年度）の2次にわたるビジョンを策定し、各種施策を展開してきました。
- 現在、人口減少に伴う労働力不足、物価上昇や国際情勢の変化、AI・デジタル技術の進展、脱炭素化など、産業を取り巻く環境は大きく変化しています。
- 国においても、生産性向上や省力化、人材の確保・育成、事業承継、DX*・GX*などを通じた中小企業の「稼ぐ力」の強化が重視されています。
- 本市においては、ものづくり産業の優れた技術、医療・福祉、環境、健康長寿の取組、首都圏との交通利便性などの卓越性（強み）を生かしていくことが重要です。
- 労働力不足が進む中で、多様な人材が活躍できる職場づくりや、企業・産業の枠を越えた連携を進め、新たな価値や安定した雇用の創出につなげていく必要があります。
- こうした状況を踏まえ、本市産業の目指す姿と取組の方向性を示し、地域経済の持続的な発展を図るため、第三次佐久市産業振興ビジョンを策定します。

等を整理

2　第三次佐久市産業振興ビジョンの位置付け

- 市の最上位計画である「第三次佐久市総合計画」を上位計画とする産業振興分野の個別計画であること。
- ものづくり産業を中心とした企業立地の方向性を示す「佐久市企業立地戦略」との整合を図ること。

等を整理

3　計画期間

- 本市の最上位計画である「第三次佐久市総合計画」の計画期間と整合を図り、令和9年度から令和18年度までの10年間とする。
- 総合計画が前期・後期各5年間で構成されることを踏まえ、ビジョンも、5年を目途に進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行うこと。

等を整理

*DX：データやデジタル技術を活用して、業務や製品・サービス、ビジネスモデルなどを変革し、新たな価値の創出や競争力の向上につなげる取組
*GX：脱炭素化や資源・エネルギーの効率的な利用を進め、環境負荷の低減と企業の成長・競争力の向上を両立させる取組

（※）項目名（見出し表記）等は、策定作業を進める中で随時検討予定

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　2/6

第2章　佐久市の産業を取り巻く現状と課題

1　社会経済情勢の変化

■ 佐久市の産業を取り巻く社会経済情勢について整理

(1)人口減少と労働供給制約の深刻化	● 人口減少と少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、人材不足や国内市場の縮小、技術・技能の継承などへの影響が深刻化している状況について記載 ● 多様な人材の活躍促進や人材の確保・育成・定着、省力化・生産性向上の必要性について整理
(2)国際情勢や経済環境の変化と企業経営への影響	● 国際情勢の不安定化や物価・金利・為替の変動、原材料・エネルギー価格等の上昇が企業経営に影響を及ぼしている状況について記載 ● 適切な価格転嫁や取引の適正化、調達先の分散など、経営基盤強化の必要性について整理
(3)デジタル技術・AIの進展と企業活動の変革の必要性	● デジタル技術やAIの進展と、企業活動の幅広い分野における活用の広がり、DXからAX*への発展に加え、サイバー攻撃、情報漏えい等が企業経営や事業継続に及ぼすリスクの高まりについて記載 ● 経営課題を踏まえた技術活用や人材育成、情報セキュリティ対策を進め、安全な事業活動を確保しながら、生産性の向上や高付加価値化、新事業の創出につなげる必要性について整理
(4)気候変動への対応とGX・循環経済への移行	● 気候変動に伴う事業リスクの高まりと、脱炭素化、資源循環、気候変動への適応に向けた国内外の動きについて記載 ● 省エネルギーや再生可能エネルギー、資源の有効活用などを、事業継続力や企業競争力の強化につなげる必要性について整理
(5)成長投資・イノベーションの重要性の高まり	● 設備投資や研究開発、人材育成、新製品・新サービスの創出など、企業の成長と高付加価値化に向けた投資の重要性について記載 ● 企業間の連携のほか、産業支援機関、大学、金融機関、スタートアップ等の連携により、新たな価値や事業を創出する必要性について整理
(6)就業意識の多様化と選ばれる職場づくり	● 働き方や就業意識が多様化する中、働く場として選ばれ、働き続けたいと思われる職場づくりの重要性について記載 ● 多様な人材の活躍、健康経営やウェルビーイング経営*などを通じた、人材の確保・定着と企業の持続的な成長について整理

*AX：AIの活用を前提として、業務の進め方や意思決定、製品・サービスなどを変革し、生産性の向上や新たな価値の創出につなげる取組
*ウェルビーイング経営：自社の利益だけでなく、企業の取引先や従業員の幸せまで実現する経営

(※)項目名(見出し表記)等は、策定作業を進める中で随時検討予定

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　3/6

第2章　佐久市の産業を取り巻く現状と課題（続き）

2　佐久市の現状と課題

■ 統計等からみた佐久市の現状と課題について整理

(1)人口動態	● 総人口の推移および予測 ● 社会動態の状況 ● 生産年齢人口は減少が見込まれるものの、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると県内他自治体と比べ緩やかであること 等を整理
(2) 佐久市の産業の概要	● 佐久市の産業構造 ● 産業別生産額 ● 産業別純移輸出額（域外から稼ぐ力のある産業は何か） ● 労働生産性 ● 商業分野の状況（商店数、年間商品販売額の状況、吸引力係数 など） ● 工業分野の状況（製造品出荷額等及び粗付加価値額の状況、県と比べた業種別の特徴など） 等を整理
(3)佐久市の工業団地等の状況	● 佐久市の産業団地の状況や、令和7年度に策定した「佐久市企業立地戦略」と整合を図りながら市内企業の定着・成長と、地域の優位性を生かした企業立地を促進していく必要性 等を整理
(4)一般社団法人佐久産業支援センター（SOIC）との連携	● 佐久市では、平成30年6月に市内商工団体、工場協会と連携し、「一般社団法人佐久産業支援センター（以下、「SOIC」といいます。）」を設立し、産・学・官・医・民・官のオープンイノベーション（共創）による産業活性化を支援しています。今後もSOICとの連携を一層強化するとともに、利用促進を図ることが重要です。 ● アンケート結果からみたSOICの認知・利用状況や、SOICと連携した産業振興の取組状況 等を整理

3　佐久市の産業の現状と将来の方向性に関するアンケート

(1)アンケートの概要	● 本年8月に実施した、事業者向けアンケート調査結果の実施概要を整理
(2)アンケート結果より	● 主なポイント（経営上の課題や今後強化したい点／佐久市で事業を営む上でのメリット・デメリット／これからの成長分野と、佐久市の地域特性を生かせる分野について／人材の確保・育成について） 等を整理

（※）項目名（見出し表記）等は、策定作業を進める中で随時検討予定

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　4/6

第3章　基本方針

1　佐久市の産業振興の基本方針

基本方針	**地域と人の力が創る産業イノベーション** **～卓越性（強み）と人の力を生かした産業の成長と新たな価値の創出～**
設定にあたっての考え方	● 本市が培ってきた産業基盤や企業の技術、健康長寿をはじめとする卓越性（強み）に、多様な人材の知識、経験、発想と、企業・大学・支援機関等の連携を掛け合わせることで、産業の成長を目指します。 ● DX・AI・GX等の変化を新たな挑戦の機会として生かし、人と企業がともに成長する好循環を育みながら、地域と人の力による産業イノベーションを推進します。

2　4つの『基本戦略』

● 基本方針を踏まえた 4つの『基本戦略』のそれぞれの概要について整理。

基本戦略1 企業の経営基盤と競争力の強化	● 人口減少や人手不足、デジタル技術・AIの進展、脱炭素化への対応など、企業を取り巻く環境が大きく変化する中にあっても、企業が持続的に成長できる産業基盤の形成を目指します。 ● 経営基盤の強化や生産性・付加価値の向上を通じて、変化に対応しながら新たな成長機会を生み出せる企業の育成を図ります。
基本戦略2 佐久市の卓越性（強み）を生かした新たな価値の創出	● 健康長寿を支える地域資源やものづくり企業の技術力、交通利便性、暮らしやすさなど、本市ならではの卓越性（強み）を生かし、新たな製品・技術・サービスや事業が生まれる産業環境の形成を目指します。 ● 市内企業の定着や成長とともに、本市の優位性を生かした企業立地を進めるとともに、高い商業吸引力、交通利便性を生かした賑わいづくりや創業を促進し、地域産業の活力向上につなげます。
基本戦略3 産業を支える人材の確保・育成と活躍の促進	● 若者や女性をはじめとする多様な人材が、それぞれの能力や経験を生かして活躍できる地域社会の実現を目指します。 ● 人材の確保・育成や技術・技能の継承を進めるとともに、ウェルビーイング経営や柔軟で働きやすい環境づくりを通じて、人と企業がともに成長し、働く場として選ばれる環境の形成を目指します。
基本戦略4 多様な連携による地域産業の活性化	● 企業、産業支援機関、大学・研究機関、医療・福祉機関、金融機関など、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携することで、新たな価値や事業を創出できる地域産業の形成を目指します。 ● 市内外の企業や異なる分野の連携を通じて、技術開発や新事業の創出、地域資源の高付加価値化を進め、市内企業の事業機会の拡大と成長につなげます。

（※）項目名（見出し表記）等は、策定作業を進める中で随時検討予定

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　5/6

第4章　実施施策

施策の体系図（案）

基本戦略	基本施策	具体的施策
【基本戦略1】 企業の経営基盤と競争力の強化	基本施策1-1　伴走型経営支援の充実	① SOICを核とした相談・伴走支援体制の強化 ② 経営の安定化と円滑な事業継続への支援 ③ 成長投資と経営革新の促進
	基本施策1-2　DX・AX等による生産性と付加価値の向上	① デジタル化・AIの安全な活用による省力化と生産性向上の促進 ② デジタル技術を活用した製品・サービスの高付加価値化の促進
	基本施策1-3　GX・資源循環への対応	① 省エネルギー・脱炭素化の促進 ② 資源循環と環境価値の向上の促進
	基本施策1-4　市場開拓と販路拡大の支援	① 企業・製品・技術などの情報発信と受注機会の拡大への支援 ② 国内外への販路開拓支援
【基本戦略2】 佐久市の卓越性（強み）を生かした新たな価値の創出	基本施策2-1　健康長寿の強みを生かした産業の創出・育成	① ヘルスケア関連製品・サービスの開発支援 ② 医療・介護・福祉機関などとの連携による事業化支援
	基本施策2-2　地域の特性・産業資源を生かした新事業創出と創業支援	① 本市の特性・技術を生かした研究開発・新分野への進出支援 ② 実証から商品化・事業化への一貫支援 ③ 多様な創業・スタートアップへの支援
	基本施策2-3　市内企業の定着・成長と本市の優位性を生かした企業立地の促進	① 市内企業の定着・事業拡張と市内再投資の促進 ② 本市の優位性を生かした企業誘致の推進 ③ 産業用地の確保と産業基盤の充実

（※）項目名（見出し表記）等は、策定作業を進める中で随時検討予定

第三次佐久市産業振興ビジョンの構成内容　6/6

第4章　実施施策（続き）

施策の体系図（案）

基本戦略	基本施策	具体的施策
【基本戦略3】 産業を支える人材の確保・育成と活躍の促進	基本施策3-1　市内企業と人材の接点・マッチングの強化	① 市内企業の魅力発信と採用力の向上支援 ② 若者・学生と市内企業をつなぐ機会づくりの推進 ③ UIJターンをはじめとする多様な人材とのマッチング促進
	基本施策3-2　産業を支える人材の育成と技術・技能の継承	① 現場を支える産業人材・デジタル人材などの育成支援 ② 技術・技能の継承と将来を担う人材の育成支援
	基本施策3-3　多様な人材が活躍できる魅力ある職場づくり	① 女性をはじめとする多様な人材の活躍促進 ② 健康経営・ウェルビーイング経営と組織づくりの促進 ③ 多様で柔軟な働き方と就業環境の整備の促進
【基本戦略4】 多様な連携による市内産業の活性化	基本施策4-1　産業支援ネットワークの機能強化	① 産学官金等の連携による相談体制の充実 ② 産業支援ネットワークを活用した企業支援
	基本施策4-2　企業間・分野間連携による新たな価値の創出	① 企業間・異分野連携による技術開発・新事業創出の促進 ② 農商工・観光連携による地域資源の高付加価値化の推進
	基本施策4-3　広域連携と市域を越えたネットワークの活用	① 地域を越えた企業や大学・支援機関などとの広域連携の促進 ② 国内外のネットワークを活用した事業機会の創出の支援

（※）項目名（見出し表記）等は、策定作業を進める中で随時検討予定